



石浜だより

ふれあい月間 6月 石浜の自然、伝統文化、歴史にふれ心豊かに

校長 安藤 良介



石浜太鼓演奏(石浜神社舟渡御)

校庭のウメの木には、いつの間にか青く大きな実がなり始め、それを見つけた子供たちは興味津々の様子です。ダンゴムシや、何かの幼虫を見つけて、大切に育てようと飼育ケースに入れる子供たちも見られ、まるで宝物を発見したかのようです。生き物を探したり、植物のお世話をしたりする子供たちの姿が増え、自然に触れ合う楽しさを日々味わっています。

また、5月には、三社祭、100年に一度の石浜神社舟渡御祭、と賑わい、石浜小の子供たちも、お囃子や和太鼓で活躍する子、山車やおみこしの渡御に参加する子と、たくさん関わらせていただきました。三社祭の日に石浜小の半纏を着てPTA会長さんと地域の挨拶回りをしていた時のこと、後ろから「お疲れ様です！」とお祭り衣装の若い女性の方が声をかけてくれました。聞けばその方も石浜小の卒業生とのこと。学校を今でも大切に思っていることを感じ、とてもうれしく思いました。

さて、6月15日(日)は石浜小学校創立118周年の開校記念日です。開校当時の名称は「東京市石濱尋常小学校」、所在地は「東京市浅草区玉姫町二十八番地」。校舎は木造2階建て、22教室あったそうです。児童は、浅草・千束・富士・待乳山の各小学校から集まり、1年生から4年生までの8学級、492名のスタートと記録に残っています。「東京市」「玉姫町」「石濱尋常小学校」という文字からも、石浜小学校の歴史と伝統を感じます。それから118年の月日を経て、今年3月に卒業した6年生を含めて、21310人の卒業生が石浜小を巣立ち、各方面でご活躍のことと思います。

新学期の慌たしさから少し解放され、子供たちと教職員とがじっくりと向き合う時間のとれる6月。6月はふれあい月間でもあります。日々の授業や活動をとおして、子供たちが、石浜小を取り巻く自然、伝統文化に豊かに関わり、石浜小の歴史に思いをはせ、学校を愛し大切に作る気持ちをもてるよう育てていきます。学校公開日以外でも、ぜひ、お時間がありましたら、短時間でも構いませんし、何かの用事で来校した時でも結構ですので、地域・保護者の皆さんにお越しいただき、子供たちの様子を直接ご覧いただければと思います。

「歯みがきチェック」で健康で丈夫な歯に！

主任養護教諭

4、5月に、全児童の歯科健康診断を実施いたしました。歯科校医の田中先生に診ていただき、ご家庭へ歯科健診の結果をお渡ししています。結果のお知らせを学校へ提出していただくと、ご家庭でもお子さんの歯の健康に気をつけていただいていることをとても感じます。これからも学校と家庭とがタッグを組み、お子さん自身が自分の歯の健康を大切にしてもらえるよう取り組みをしていきたいと思っております。

そこで今年度も「歯みがきチェック」を計画いたしました。カラーテスターによる、ご家庭での「歯みがきチェック」にぜひご協力いただきますようお願いいたします。カラーテスター(2錠)と「歯みがきチェックカード」を配布いたします。お子さんと一緒に、「歯みがきチェック」をして、お子さんの現在の歯の生え方、歯並びで汚れやすいところを見付けることができれば幸いです。健康な歯は自分の一生の宝物です。年に1回のこの機会にお子さん「歯の健康」について話し合ってみてください。よろしくお願いたします。